

この子らと

令和6年4月号

命輝く子ども



甲突川の桜

わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

4月は、出会いの季節

令和6年度がスタートしました。新たな子どもたちと保護者の皆様との出会いです。



甲突川の桜の便りが聞こえてまいりました。ときはまさに百花繚乱、そして、出会いの季節でございます。

さわやかな春の風が、23名の園児と保護者のみなさまが本園に運んでくださいました。

そして、105名の子どもたちと27名の職員を乗せた船が出航しました。



本園は、「地域に浮かぶ船」のようなものです。地域、保護者の皆さま等の支えなくして目的地に入港することはできないと思っております。

わたしたち職員は、子どもたちの成長のために職種を超えて、その責を果たすために精進・努力いたします。ご支援・ご協力についてよろしくお願い申し上げます。

人生の出会い

人生は、いろいろな人との出会い、ふれあいの旅である。

人は、出会いによって知人となる。

人は、つきあいによって友人となる。

人は、助け合いによって仲間となる。

良い友、良い仲間に出会った人は、幸せである。



“4月6日は「入園式」です”

23名の子どもたちと保護者の皆様との不思議なめぐり合わせで、「人生の出会い」をしました。子どもたちがいて、保護者あっての本園です。常に感謝の心と強い危機意識をもって子どもたち一人一人の可能性を引き出して、一人一人の成長に責任を果たすことをお約束いたします。本園職員の果たすべき責任は、子どもたちの可能性を引き出すことです。



令和6年度の本園の経営の方針です。子どもたち一人一人は、いつか必ず花咲く「可能性」という種子を無限にもっています。本園は、子どもたちの可能性が花咲くように未来につながる教育・保育、成長につながる教育・保育を実践してまいります。

園訓 **「たったひとつの命を大切に共に育ち合う」**

教育・保育の方針

- 1 乳幼児期に大切な意欲・思考力・社会性等非認知能力を培う教育・保育を進めます。(子どもたちが自ら主体的に学んでいく教育・保育を実践します。)
- 2 一人遊び・室内遊びから戸外遊び・集団あそびを進めます。(集団遊びは、子どもたちに社会のルール・マナーを育みます。)
- 3 自由遊びと意図的保育のバランスのとれた教育・保育を進めます。(保育者の意図的な設定保育により一人一人に確かな学びの基礎を培います)

めざす認定こども園像

- 1 子どもの笑顔、大人の笑顔があふれる園
- 2 子どもの成長を約束する園
- 3 思いやりの心があふれる園
- 4 安心・安全な園
- 5 地域に愛され、地域に貢献する園



【重点課題Ⅱ 感謝の心があふれる園づくり】

- 1 全ての人に対して、慈愛に満ちた言葉遣いや思いやりのある関わりをします。(和言愛語を実践する園です)「愛語は、愛心と和より起こる」
- 2 職員同士、職員と子ども、子ども同士、職員と保護者等が「笑顔で挨拶」を行うようにします。
- 3 大切な命をお預かりしているという危機意識をもって子どもたちにかかわるようにします。

…この子らを一人ももらすまじの教育者の心…